

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

## 平成24年度 第1回 太陽光発電事業化検討チーム 会議概要

日時：平成24年4月19日（木）10:00～12:00

会場：小田原市役所 4階 第3委員会室

出席者（五十音順 敬称略）

・太陽光発電事業化検討チーム

志澤昌彦、鈴木大介、中矢慎一、古川晴基、山崎淳一

・小田原市事務局

環境部副部長、エネルギー政策推進課副課長、エネルギー政策推進課係員2名

### 結果概要

#### <1 平成24年度の予定>

- 平成24年度の予定としては、事業化検討協議会を4回、市民意見交換会を3回行うことを予定している。太陽光発電検討チーム会議は8月までに8回行い、事業会社の立ち上げを12月に行いたい。また、10月以降に大規模ソーラーに関する検討チーム会議を行う。小水力発電については、8月以降検討チームを結成し、小水力発電についての勉強会や視察等を行い、平成24年度中に候補地の選定まで行うことを想定している。なお、検討の進捗状況に応じて個別の会議については柔軟に開催する予定。
- 大規模ソーラー候補地については、受電場所の確認が必要である。

#### <2 事業採算性の具体的分析フローについて>

##### (1) 屋根貸しソーラー事業

- 屋根貸しソーラー事業の事業計画策定フローについて説明をした。
- 太陽光パネル設置候補公共施設について、以前の調査結果をもとに候補の絞り込みを行い、6候補施設を選定した。
- PR効果を考えると、小学校と中学校とにそれぞれ一校ずつ設置するのが理想的である。
- 候補地について、現地視察を行う。
- 公共施設を使用する手続き的な問題を確認することとした。

##### (2) 0円ソーラー事業

- 最近では、設置費用を格安に抑え、売電収入を一定期間事業者が収める事業形態をとる事業者も出ている。
- パネル価格が低減していることや融資制度が充実していることを考えると、0円ソーラー事業の意義を見直したほうがよいのではないかと。
- 0円ソーラーの対象を一般住宅だけでなく、小規模店舗等の民間事業者としたり、

月額支払利用料は高額になるがメンテナンス付きのパネルを販売するなどの工夫が必要である。

- パネル単価は低減しているが、事業を行っていく上ではメーカー保証やメンテナンス費用等を長期的な視点で考慮した上で、設置パネルを選択する必要がある。
- ターゲット層（年齢層、集合住宅、事業者等）や「0円ソーラー」という名称について見直しが必要である。
- 0円ソーラー事業について、そもそもの考えた方を整理するとともに、どのようなパターンが考えられるか案を出して、次回の検討チームで検討することとした。